

## 早 3月31日(日) 春 はねず踊りと今様

小野小町ゆかりの随心院で3月31日(日)に「はねず踊り」が行われます。

薄紅色のこを古くは「はねず」と言い、随心院の紅梅は古くからこの名で呼ばれていました。はねず踊りがいつ頃から歌われ踊ら

れていたかは定かではありませんが、毎年「はねず」の咲く頃に、随心院に伝わる小野小町と深草少将の恋物語の伝説を主題として歌われてきました。小袖に菅笠姿の小野小町と深草少将に扮した少女たちが、童唄と踊りを披露します。

一時中断していましたが、昭和48年に復興され、平成15年には伝統の祭りを地域の住民により継承

していこうと「はねず踊り保存会」が結成され、同会により毎年3月の最終日曜日に行われています。

●時間 / ①午前11時②午後0時30分③午後1時30分④午後3時

●場所 / 随心院境内(山科区小野御霊町35、地下鉄小野駅から東へ徒歩5分)※雨天の場合は能の間

●費用 / 大人1,000円、中学生800円(拝観、梅園入園料含む)



●問合せ先 / はねず踊り保存会 (☎571-0025)

## ふれあい“やましな” 2013区民ふれあい文化祭 区民ギャラリー受賞者決定

2月24日(日)に開催された区民ふれあい文化祭「区民ギャラリー」に出展された作品216点の中から、各部門の「ふれあいやましな賞」受賞作品(最優秀作品)を紹介します。

●問合せ先 / ふれあい“やましな” 実行委員会事務局 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

### ふれあいやましな賞



#### リサイクルアート

「ねこ」住若 正美さん



写真 「ヤングママの休日」 宮崎 松夫さん



絵画 小学生・中学生の部

お話の絵 「なまけものエメーリヤ」 浦木 咲希さん

保育園・幼稚園の部

お話の絵 「じごくのそうべい」 須磨 和希くん



和紙ちぎり絵「水芭蕉の咲く頃」 松浦 ミサエさん

#### 書道

一般の部

漢詩「春花月夜」 金丸 修さん



小学生・中学生の部 津村 さくらさん

## 第38回 山科義士まつり

写真コンクール 入賞作品

昨年12月14日に行われた山科義士まつりをテーマにした写真コンクールにおいて、上位入賞された方の作品を紹介します。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

### 実行委員会会長賞



「成就の足音」木村 靖さん



### 山科区長賞

「えいえいお～。えいえいお～」 坂口 篤司さん

### 京都新聞社賞



「心一つに」 青木 啓子さん

### 大石神社賞

「いざ出陣」 廣瀬 公一さん



## 入選



「華やかな出陣」 面村 佳純さん



「はにかむ大石主税」 小巻 真司さん



「思い」面 正幸さん



「いざ出発だ」西沢 五郎さん

## 「山科のええとこ、一緒にしゃべろ！」開催

山科のことが大好きな市民が自由に情報を発信し、交換しあうプラットフォーム(インターネットによる情報交換の場)参加者交流会が、1月30日に開催されました。

「鏡山次郎」こと浅井定雄さんから「山科祭り」について講演いただいたのち、33人の参加者が7つのテーブルに分かれ、交流を深めました。各テーブルでは、「山科祭りで神輿がたくさん出るのにびっくりした」、「山科は知れば知るほど愛着のわくまちだ」、「もっと山科の魅力について語り合いたい」といった意見が出されました。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当

(☎592-3088 Email:yamashina-machi@city.kyoto.jp)



## 地域防災 最前線



### 日頃から地震に備える

東日本大震災から2年がたちました。

京都市でも大地震の危険性が高まっているといわれています。

みなさんも、地震の備えができているか点検しましょう。

○いざというときに備えて、非常

持出袋を備えましょう。

○家具の配置を工夫したり、転倒防止処置を行なって、家の中に安全なスペースを作りましょう。

○日頃から、ご近所の方と交流するとともに、地域ぐるみで自主防災活動に参加しましょう。

○テレビや新聞など、普段から地震に関する情報に注意しましょう。



ご存知ですか。

### 安祥寺山ハイキングコースの119番通報ポイント標識

山科区は美しい山に囲まれ、身近に気持ちのいいハイキングコースがたくさんあります。しかし、気軽に行けると過信は禁物。道に迷ったり、山での事故も多発しています。

山科消防署は、昨年、安祥寺山ハイキングコースに設置している119番通報ポイント標識74個所を新しくしました。

昨年暮れの救助事故では、この標識が有効に活用されています。

これからハイキングに行かれる皆さんも、美しい緑を満喫する合間に、ちょっと道端の119番通報ポイント標識に目を止めてください。

●問合せ先 / 山科消防署 (☎592-9755)

